

令和6年度 第1回伊勢崎市多文化共生キーパーソン会議

会議録

開催日時 令和6年5月16日(木) 午後6時00分～午後7時00分

開催場所 伊勢崎市役所東館5階第2会議室

参加者

・キーパーソン 【6名】

清水 和美さん(日本)、SHRESTHA PANTA CHHERTI LAXMI さん(ネパール)、
竹原 ドラさん(ペルー)、NANG NYO NYO HLA さん(ミャンマー)、
丸山 静さん(中国)、若林スエリさん(ブラジル)

・事務局(国際課)【3名】

国際課長、国際課長補佐、事務局職員1名

1 開会・あいさつ

2 自己紹介

3 意見交換

(1)「第1期多文化共生キーパーソンの活動について」

<事務局>

第1期多文化共生キーパーソンの皆様には、通年で市や協会が発信する外国人住民向けの情報を、ご自身のSNS等で周りの外国人住民に情報拡散していただけてきた。第2期の皆様には、同じく、情報拡散のご協力をお願いしたい。

その他の具体的な活動としては、キーパーソン事業が発足した令和2年度には、新型コロナウイルス感染症予防啓発の動画を製作し、令和3年度では、年3回の多文化共生キーパーソン会議と市長との座談会を開催し、地域における多文化共生の現状や課題などについて意見交換を行った。意見交換をする中で生まれたのが、令和4年度に作成した各国の生活習慣の違いをまとめた多文化共生リーフレットである。このリーフレットはキーパーソンから意見を伺い、作成した。そして、令和5年度には、キーパーソンのご協力のもと多文化共生フェスタいせさき2023の開催をした。

本日は、第1期多文化共生キーパーソンの活動を参考に、今年度以降の活動についての意見交換をしていきたい。

(2)「今年度の活動について」

<事務局>

・「令和6年度 伊勢崎市多文化共生キーパーソン事業年間スケジュール(案)」を見ていただきたい。市や協会が発信する情報について、通年で周りの外国籍の方々に情報拡散をお願いしたいのと、7月7日に「多文化共生スポーツ交流イベントいせさき」、11月10日に「多文化共生フェスタいせさき2024」の開催を予定しているので、こちらにも周知等の協力をいただきたい。

・また加えて、今年度の活動として事務局側から提案をしたいため、「第1期多文化共生キーパーソンからの意見 実施に向けて」の資料を見ていただきたい。こちらは第1期キーパーソンが挙げた今後実施したい活動を意見としてまとめた資料である。1番から4番までの意見はリーフレットの作成や多文化共生フェスタなど、実施できたものを記載している。そして、第1期キーパーソンからの意見で5番の「母国語を教える場を設ける」という項目がまだ実施できていないため、今年度はこの「母国語を教える場を設ける」を第2期キーパーソンの皆様と一緒に形にしていきたいと考えている。母国語とあるが、出身国の文化紹介も兼ねてもよい。やり方としては、今年の11月10日に「多文化共生フェスタ2024」が市民プラザで開催されるため、そこで母国語や出身国の文化を教えるブースを設け、模造紙を使い、自由に写真や絵を貼りながら手作り感のある各国の文化紹介の展示はどうかと考えている。よろしいか。

<キーパーソン全員>

・よろしい。

<キーパーソン>

・母国の好きなどころなどの紹介でもよろしいか。

<事務局>

・よろしい。ブースの場所は去年に開催した「多文化共生フェスタいせさき2023」の「世界の料理・屋台村」が行われた1階ロビーを考えている。

<キーパーソン>

・ちょっとした体験ができるブースはどうか。

<キーパーソン>

・ミャンマーでは、良い香りのする日焼け止めクリームがあり、それを顔に塗る体験ができそう。

<キーパーソン>

・今の現実に即した文化紹介がよいと思う。ブラジルの文化はサンバとかサッカーであると

というような日本人が持っているステレオタイプの紹介ではなく、普段の日常に即した文化紹介ができればよい。

<キーパーソン>

・模造紙で自国の地域の食べ物などの紹介はできる。また、中国で使われている教科書等の本の展示もできそう。日本と中国の漢字の違い等に興味を持ってくれる人がいるかもしれない。展示されているものが持っていかれてしまう可能性があるため、ブースに立つ人はいるか。

<事務局>

・ブースに立つ人はまだ決まってはいるが、配置等を検討している。

<キーパーソン>

・以前、日本人にネパールの衣装を着せてみたことがあり、とてもよく似合っていて嬉しかった。もし衣装を着てみたいという希望があれば衣装体験はできそう。

<キーパーソン>

・ペルーはマチュピチュがあるが、その他にもたくさんある。ペルーの地図を描いて、各地域の特徴の紹介ができそう。

・伝統衣装を実際に着させるのは難しいが、マネキンに着せて展示はできそう。

<キーパーソン>

・国でも場所や地域によって文化等が異なることを知ってもらいたい。

・展示場所は第2会場を設けても良いかもしれない。

<キーパーソン>

・今回のフェスタでも料理を出す予定か。

<事務局>

・「世界の料理・屋台村」のグルメイベントとして出す予定でいる。

<キーパーソン>

・部屋に来る来場者が多くなると、狭くなってしまうかもしれない。

<キーパーソン>

・食べ物を売ったり、食べたりできる場所を2階にすれば、人の集まりを分散させられるかもしれない。

<事務局>

・次回の第2回キーパーソン会議で模造紙とペンを事務局で用意してお渡しする。キーパーソンご本人でも、同じ国の友人等と協力してでもよろしいので文化紹介の模造紙をこれから作成していただきたい。そのため、次回の第2回会議までにどのような内容で載せるか等を考えていただきたい。また、展示や体験の場所をどの部屋やどのスペースを使ってやりたいのかもあわせて次回までに考えていただきたい。

・また、第3回会議では土日のいずれかで、会議室に集まって文化紹介の模造紙を作成する日を設けたいと考えている。

<キーパーソン全員>

・よろしい。

(3)「来年度の活動について」

<事務局>

・キーパーソンの任期が2年であるため、来年度の活動計画も立てていきたい。先月、行われた認定書交付式の後に事務連絡をさせていただいた時に、これからの活動としてリーフレット作成の意見があった。事務局側としても、第1期キーパーソンの時に作成したリーフレットに次ぐものを作成してはどうかと考えているが、よろしいか。

<キーパーソン全員>

・よろしい。

<キーパーソン>

・いつくらいまでに作るか。

<事務局>

・2025年内に作成して、2025年度内で配布できたらと考えている。

<キーパーソン>

・載せる内容のテーマを絞って、多国籍の内容にしてはどうか。伊勢崎市は60カ国以上の国籍の外国人がいる。

・ベトナム国籍が市内でトップになっているが、キーパーソンにベトナム国籍がないのはさみしい。

<キーパーソン>

・フィリピン、インドネシアの方々が増えてきている印象がある。

<事務局>

- ・もし、周りにキーパーソンになれそうな方がいれば紹介してもらいたい。

<キーパーソン>

・リーフレットは、各地域のルールの違いをまとめたものはどうか。各地域によってルールが異なり、内容をまとめにくい、生活の基本となる情報である。生活のルールをきちんと教えていかなければ、ずっとわからないままの状態になってしまう。生活の基本ルールを多言語で教えてあげられることができれば、地域内でお互いに楽しくずっと一緒に生活していけるのではないか。

<キーパーソン>

・リーフレットを作成した後、その内容で外国人向けの講演を開き、通訳を入れて、教えていく必要があると思う。

・行政サービスの申請はどこでしたらよいのか、相談はどこにしたらよいのかといった情報を知らないことで大変な思いをしている人たちがいる。例えば、外国籍の発達障害や障害児の関係だとずっと行政や福祉とやり取りすることになるため、書類の書き方や申請の仕方などわからないことで大変な事態に繋がるケースがある。そういった事態を防ぐために、相談先に正しく繋がられるリーフレットがよい。

<キーパーソン>

- ・保育園などに入る時期がわからない人たちもいる。

<キーパーソン>

・日本語がわからないから情報が手に入らないことも要因である。学校のことなどの教育関係で困りごとがあったらすぐに、相談先に正しく繋げることができればよい。

<キーパーソン>

- ・情報が行き届いていない印象がある。

<キーパーソン>

・保育園のことや小学校のことなど、各教育現場によって相談できる場所の案内ができるとよい。

4 事務連絡

5 閉 会